

工事の安全を願う

市総合市民センター（仮称）安全祈願祭



▲安全祈願祭の様子

7月28日、みやま市総合市民センター（仮称）工事の安全祈願祭が建設予定地で行われました。市長や工事関係者など約50人が参加し、工事の安全を祈願しました。松嶋市長は「文化や芸術、スポーツを通して、心豊かな生活、にぎわいの拠点となることも、避難所としても市民の安心安全につながる施設となることを期待します」とあいさつ。同センターは2022年の秋にオープン予定です。

受章おめでとうございます

叙勲 瑞宝双光章を受章



▲受章された塚本さん（右）

みやま市消防司令長の塚本哲嘉さんが瑞宝双光章を受章され、8月17日、報告のため市役所を訪れました。塚本さんは消防職員として長年勤務。平成23年度から27年度には市の消防長を務められ、消防行政への功績が認められての受章です。塚本さんは、「周りの皆さんに支えていただいたおかげで受章することができました」と話されました。

花束に感謝を込めて

みやま市ボラ連より花束贈呈



▲市長と三小田消防団長（右）に花束を贈呈しました

7月27日、みやま市ボランティア連絡協議会より、新型コロナウイルス感染症拡大防止や豪雨災害の対応などの業務にあたる人々に向け、花束の贈呈が行われました。同協議会は市役所や、市内小中学校、瀬高警部交番など27カ所に花束を贈呈。会長の藤吉滋子さんは「リスクのある中で活動を続けている方々にとって、少しでも癒やしになればと思います」と話されました。

手作り灯籠で地域に元気を

清水公民館に灯籠を設置



▲清水小学校の児童が作成したペットボトル灯籠

8月2日から21日までの間、清水校区まちづくり協議会は、清水公民館に竹やペットボトルで作った灯籠を設置しました。新型コロナウイルスの影響により、校区行事が行えない中、地域のつながりを絶やさないために同協議会が企画。会長の堤直樹さんは「地域の皆さんの協力のおかげです。新型コロナウイルスに負けず、地域を元気づけることができたいと思います」と話されました。

豊かな水辺環境を守るためにご協力ください

上下水道課 下水道係 (Tel.64-1533)

私たちが台所や洗濯、風呂などから流す生活雑排水は、河川や水路、海の水質汚濁の大きな原因の一つとなっています。みやま市では、豊かな水辺環境の保全と公衆衛生の向上を目的として、地域の特性に応じて公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽設置事業を推進しています。現在、公共下水道や農業集落排水施設の供用が始まっている地域の人で切り替えが済んでない人は、施設への接続をお願いします。それ以外の地域にお住まいの人で、単独浄化槽を設置されている人、汲み取り式を利用されている人は、合併処理浄化槽への切り替えをお願いします。

- 下水道施設へ接続する人へ
排水設備工事を行う場合は、補助金制度（供用開始後3年以内）があります。※各家庭の排水を下水道へ流すために公共汚水ますが必要です。別途設置工事が必要な場合があります。詳しくは問い合わせください。
- 合併処理浄化槽を設置する人へ
浄化槽の設置から維持管理までを市が行う地域（市町村設置型）や、浄化槽の設置に対して補助金を交付できる地域（個人設置型）があります。※個人設置型の地域は将来的に下水道が整備されますので、一部の地域では補助金を交付できません。詳しくは問い合わせください。

